

平成28年度

重点事業要望説明会

医師確保・道路整備
観光・雇用

7月27日、県に対する平成28年度重点事業要望説明会を開催しました。今年度は、重点事業4件のほか、重点事業5件を要望しました。



されるため、津軽自動車道五所川原・鯉ヶ沢間の未着手区間の早期事業化、並びに現在供用開始されている浪岡五所川原道路の冬期における緊急車両等の安定した通行確保に向け、付加車線の整備をお願いしたい。

▽**県回答** 津軽自動車道を始めとする高規格幹線道路の整備促進は、県としても重点施策として国に対して提案をしてきた。鯉ヶ沢道路約3.7kmについては、今年度は用地取得および改良工事を実施し、年度内に供用予定ということで国としても総力を挙げていくところである。浪岡五所川原道路については更なる利便性・安全性の向上を図るため、一部区間において付加車線設置工事を実施。柏・浮田間については地元意見聴取などの計画段階評価を進めており、県としても引き続き関係機関と連携して早期の事業化を図れるよう国に働きかけていきたい。

津軽自動車道の整備促進について(継続)

▽**県回答** 高規格幹線道路「津軽自動車道」は、地域救急医療体制や広域観光ルートの周遊性向上等の大きな整備効果が期待される。

津軽半島地域活性化、広域災害対応の観点からも効果拡大が期待

地域の知名度向上、観光コンテンツの量や質の向上を図るため、首都圏、道南地区を中心とした観光キャラバンの実施や人材育成に取り組むこととしているが、県においても中京・関西圏や北海道からの誘客の積極的実施などをお願いしたい。

▽**県回答** 県では、首都圏、四大都市圏への旅行のセールス活動を行うとともに、今年の春に県の観光情報サイトをリニューアルし、サイトとの連動により、青森県の情報をきめ細かく把握できるように体制作りに取り組んでいる。また、教育旅行についても、今年度から学校側のニーズに合ったプログラムを開発・提供する事業を開始しており、県としても誘客対策を実施しているところである。具体的には、中京圏・関西圏からの誘客については、地元のマスメディアを活用した情報発信、地下鉄等の注目度の高いところに広告を掲出するとともに、昨年の航空路線のダブルトラック化という追い風を活用していきたい。北海道からの誘客については、新幹線の開業という大きなチャンスを活用し、JR東日本と連携する形で観光色を絡めたプロモーションを行い、青函の魅力を発信する。その他、グ

観光振興対策について(継続)

東日本大震災後、東北、青森県への観光客入り込み数は回復へと向かっているが、まだまだ厳しい状況に置かれているのが現状である。市では、西北津軽地域、奥津軽

青森テクノポリスハイテク工業団地漆川への企業誘致促進について(継続)

次代を担う若年層や地域求職者に安定した就業環境を提供するため、青森テクノポリスハイテク工業団地漆川への企業誘致対策をお願いしたい。

▽**県回答** 県では、農工食品関連分野を始めとして情報通信関連、環境エネルギー関連、医療健康福祉関連、自動車関連といった産業分野をターゲットとし、県の強みを生かした戦略的な企業誘致活動や支援制度の拡充にも努めていきたい。

重点事業

- ◆ 国民健康保険に係る国庫負担金および交付金の減額調整の廃止について
- ◆ 国道339号の整備促進について
- ◆ 主要地方道屏風山内真部線の整備促進について
- ◆ 電線類の地中化の推進について
- ◆ 一級河川岩木川水系における治水事業の促進について

最重点事業

医師確保対策について(継続)

つがる西北五圏域における医療の安心・安全を確保していくため、常勤医師確保が困難な特定診療科、救急医療およびサテライト医療機関の医師確保をお願いしたい。

▽**県回答** 医師不足対策については重要な課題と考え、「良医を育てるブランドデザイン」を策定し、医師育成に取り組んでおり、医師数は増えている。西北五圏域の医